



今月の特集

歯科用CTについて

CTとは“Computed Tomography”の略で、日本語では“コンピュータ断層撮影”といいます。

多数の方向からX線照射し、体から通り抜けてきたX線を検出器で読み取り、得られたデータをコンピュータで計算して輪切り画像にします。それを重ね合わせることによって、**三次元(立体的な)画像**を作ることができます。

歯科用に改良されたCT装置

CTというと、大きな病院での検査で使用する装置を思い浮かぶかと思いますが。病気やケガをした際に撮影を行ったことがある方も多いことでしょう。**歯科用CT**はそんな医科のCTを歯科治療のために改良した装置です。歯や顎の骨の状態を三次元的に把握できます。レントゲン撮影では二次元(平面的な)画像しか得られないため、**歯科用CT**を活用することで診断とその精度を大きく向上させることが可能となりました。



医科用CTとの違いは？

- その1** 歯科用CTは、医科用CTと比べると数十秒と撮影時間が短い。
- その2** X線を照射する部位が口腔周囲に限られることから被ばく量は、医科の10分の1程度。
- その3** 座ったまま、あるいは立った状態で撮影することが可能。

従来のレントゲンとの違い(二次元と三次元の違い)

歯科用CTと従来のレントゲンとの決定的な違いは、得られる画像の「次元」です。



従来のレントゲン
二次元(平面的な)画像

従来のレントゲン撮影では、皆さんも過去に一度は撮影した経験があるかと思いますが、いずれも平面的な画像しか描画されていませんでした。これは病気を一方向からしか確認できないことを意味します。

歯科用CT

三次元(立体的な)画像



歯科用CTでは、任意の角度(画像を回転させることができる)や位置から歯や顎骨を立体的に確認できます。つまり、顎骨の幅や深さ、奥行きまで正確に把握できることから、治療の精度が大幅に向上しました。

現状、歯科用CTは、インプラントのような外科処置を伴う歯科治療では、**歯科用CTによる精密検査が必須**となり、その他、**抜歯や根管治療、矯正治療**においても大きな力を発揮します。

保険はききますか？

歯科用CT(3次元エックス線)撮影は、当該画像撮影の必要が十分認められる場合、**保険適用となります。**

ご参考までに現在の保険点数は、以下となります。

撮影料	600点
診断料	450点
電子画像管理加算	120点
合計	1170点

3割負担の方の場合、負担金は**3510円**

1割負担の方の場合、負担金は**1170円**

※保険点数は2年に一度改定があるため、現段階での点数を掲載します。

今回は、**歯科用CTにおける被ばく量**についてご説明したいと思います。

事務長の孤独のグルメ

今月の孤独のグルメは、

〒040-0035 北海道函館市松風町10-6 2F 駐車場有り

豚丼ポルコ 十勝特製豚丼+卵焼きトッピング

TEL 0138-83-5046

「道産子はうなぎを食べない」という統計がある。理由はうなぎが取れない、文化がないなどの理由が列挙されているが、私はそうは思わない。北海道はそもそも入植地。本州の文化がほぼ全て入ってきている。ソレが独自性を打ち出すことで、北海道の文化に変化していったのが確かだと思う。豚丼も元を正せば、鰻丼だ。鰻が手に入りにくい土地で鰻のタレを使って豚肉を味付けするのがスタートだ。だから、豚丼も炭火で蒲焼のように焼いていないと豚丼ではない。ってなことも知らず、狂牛病の時に、某牛丼チェーンで出した豚丼を、世界一うまい! と貪り食べていた若い俺は、愚かだったと思う…。

やっと函館にちゃんと豚丼を食わせてもらえる店を見つけた。豚丼ポルコ。肉がうまい! 米がうまい! タレがうまい! って、減点するところないじゃない! 大正解! っていうくらい美味しい。帯広まで行くことを考えれば、店舗へ続く階段なんて、スキップで登っちゃうね。



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>